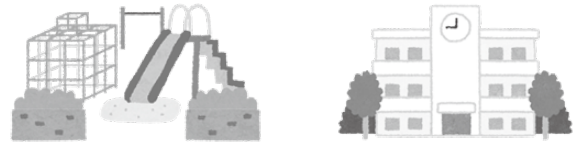


地方自治法並びに出水市財政事情の作成及び公表に関する条例では、年に2回、市の財政状況について公表することになっています。今回は、2018（平成30）年度下半期（10月～3月）の財政状況について、お知らせします。

企業会計の状況

会計名	収益的収入・支出				資本的収入・支出				
	収入	収入率	支出	執行率	収入	収入率	支出	執行率	
水道事業	予算現額	8億 1,910万円	102.03%	7億 8,883万円	96.07%	1億 7,747万円	96.03%	5億 3,910万円	93.64%
	収入・支出済額	8億 3,570万円		7億 5,784万円		1億 7,043万円		5億 482万円	
病院事業	予算現額	44億 4,051万円	85.68%	45億 4,943万円	96.90%	2億 3,757万円	94.44%	7億 6,361万円	98.36%
	収入・支出済額	38億 473万円		44億 845万円		2億 2,437万円		7億 5,110万円	

2019年3月31日時点の財産などの状況



財産の状況

区分	2019年3月末 現在高	2018年9月末 現在高	増減	備考
土地 (うち山林)	3,280万 3,421㎡ (2,853万 4,896㎡)	3,282万 4,198㎡ (2,853万 4,945㎡)	△ 2万 777㎡ (△ 49㎡)	土地のうち、主なものは山林です。
建物	32万 4,028㎡	32万 7,404㎡	△ 3,376㎡	建物のうち、主なものは学校、公園、住宅などの施設です。
有価証券	4,588万円	4,588万円	0万円	市が保有している株券です。
出資金	1億 382万円	1億 382万円	0万円	各種協会等への出資金です。
貸付金	15億 7,470万円	18億 1,938万円	△ 2億 4,468万円	特定事業のために市民や別会計の事業にお金の貸し付けを行っているものです。
車両	169台	171台	△ 2台	市が保有している公用自動車や消防車両などです。
基金	200億 8,766万円	202億 329万円	△ 1億 1,563万円	一般家庭の預貯金に相当するもので、19の基金があります。
積立	154億 1,883万円	155億 3,452万円	△ 1億 1,569万円	計画的に積み立て、資金不足のときに取り崩したり、特定の事業を行うための基金です。
果実運用	32億 5,710万円	32億 5,710万円	0万円	原資は取り崩さず、その利息を使って事業を行う基金です。
定額運用	9億 1,941万円	9億 1,941万円	0万円	一定の金額の基金を原資に、土地を購入したり、貸し付けを行う基金です。
特別会計	4億 9,233万円	4億 9,227万円	6万円	特別会計が積み立てている基金です。主に国民健康保険基金。

借金（市債）の状況

会計名	2019年3月末 現在高	2018年9月末 現在高	増減	
一般会計	226億 1,647万円	232億 2,660万円	△ 6億 1,013万円	
下水道分	下水道特別会計	70億 572万円	70億 4,986万円	△ 4,414万円
	特定環境保全公共 下水道特別会計	43億 8,303万円	44億 1,405万円	△ 3,102万円
	農業集落排水 特別会計	14億 5,657万円	14億 6,167万円	△ 510万円
地方卸売市場特別会計	7,544万円	8,266万円	△ 722万円	
企業会計	水道事業	38億 5,203万円	38億 6,001万円	△ 798万円
	病院事業	18億 6,372万円	19億 8,021万円	△ 1億 1,649万円

一時借入金の状況



昨年10月1日から本年3月31日までの間に資金不足は発生しなかったため、一時借入れは行っていません。

なお、2006年の市町合併以降、資金不足により一時借入れを行った実績はありません。

- 一般会計とは…福祉・教育・都市整備といった行政運営の基本的な経費について、市税などを主な財源として計上している会計です。
- 特別会計とは…地方公共団体が特定事業の収入をその事業の支出に充て経理を行う会計です。
- 企業会計とは…使用料などのその事業における収入で、その事業の経費をまかなうことを目的として設置される独立採算が原則の会計です。
- 市債とは…市が大きな事業を実施するときに国や金融機関などから行う借入金のことです。
- 一時借入金とは…支払資金が不足するときなどに、金融機関から一時的に借りるお金のことで、年度内に返済することになっています。

2018年度下半期の財政状況について

各会計における2019年3月31日時点の予算の執行状況、財産の状況は次のとおりです。
 なお、企業会計以外は出納整理期間があるため2018年度末の決算額とは異なります。

2019年3月31日時点の予算の執行状況

一般会計の状況

(歳入)

区 分		予算現額	収入済額	収入率
自主財源	市 税	55億 4,414万円	55億 6,606万円	100.40%
	使用料および手数料	4億 3,933万円	3億 9,243万円	89.33%
	分担金および負担金	2億 3,172万円	1億 9,839万円	85.61%
	繰越金	9億 3,732万円	9億 3,731万円	100.00%
	繰入金	3億 5,229万円	3億 2,825万円	93.17%
	その他	5億 7,015万円	2億 6,319万円	46.16%
小計	80億 7,495万円	76億 8,563万円	95.18%	
依存財源	地方交付税	88億 8,323万円	91億 4,915万円	102.99%
	国庫支出金	36億 2,299万円	31億 5,005万円	86.95%
	市債	26億 7,850万円	6億 5,000万円	24.27%
	県支出金	22億 9,879万円	15億 8,606万円	69.00%
	その他	12億 4,543万円	12億 7,093万円	102.05%
小計	187億 2,894万円	158億 619万円	84.39%	
歳入合計	268億 389万円	234億 9,182万円	87.64%	



※自主財源の「その他」には、財産収入、寄附金、諸収入が含まれています。

※依存財源の「その他」には、地方譲与税、地方消費税交付金などの各種交付金が含まれています。

(歳出)

区 分	予算現額	支出済額	執行率
議会費	1億 9,758万円	1億 9,355万円	97.96%
総務費	32億 4,576万円	23億 5,518万円	72.56%
民生費	97億 5,893万円	79億 5,070万円	81.47%
衛生費	24億 7,323万円	23億 3,399万円	94.37%
労働費	2,215万円	2,157万円	97.38%
農林水産業費	14億 2,152万円	9億 9,156万円	69.75%
商工費	4億 8,405万円	4億 4,420万円	91.77%
土木費	20億 5,518万円	9億 3,243万円	45.37%
消防費	9億 4,736万円	6億 5,509万円	69.15%
教育費	34億 4,865万円	22億 4,357万円	65.06%
災害復旧費	2,150万円	1,197万円	55.67%
公債費	27億 2,298万円	23億 6,166万円	86.73%
予備費	500万円	0万円	0.00%
歳出合計	268億 389万円	204億 9,547万円	76.46%



特別会計の状況

特別会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険(事業勘定)	77億 7,797万円	70億 6,510万円	90.83%	72億 1,265万円	92.73%
後期高齢者医療	6億 4,516万円	6億 3,579万円	98.55%	6億 4,252万円	99.59%
介護保険	61億 441万円	50億 7,899万円	83.20%	53億 2,672万円	87.26%
交通災害共済	1,484万円	2,000万円	134.77%	748万円	50.40%
下水道	12億 4,236万円	3億 7,042万円	29.82%	10億 304万円	80.74%
特定環境保全公共下水道	4億 9,177万円	1億 79万円	20.50%	4億 6,121万円	93.79%
農業集落排水	2億 7,855万円	6,098万円	21.89%	2億 5,604万円	91.92%
地方卸売市場	2,074万円	1,041万円	50.19%	2,032万円	97.97%